

港町



きゃーらげ

【飯田の唄】

- 能登の飯田は 珠洲での都 月に二七の 市が立つ
- 珠洲の御崎の 四所御所桜 枝は越後で 葉は佐渡へ
- 恵比寿大黒 飯田の町の 西と東の守り神

【情景色豊かな唄】

- 遠く離れて 会いたいときは 濱の千鳥が たよりする
- 今宵一夜は どんすの枕 明日は浮いたか 波枕
- 酒はでたれど 肴はまだか 沖の釣り船 まだ戻らぬか

【どどいつらしい唄】

- 娘こっちむけ かんざしあげる かんざしあげぬが 顔見たい
- やぶれふんどし 将棋の駒よ 角とおもたら 金が出た
- おばばしょんべんこきゃ 雀が止まる 一羽二羽三羽しわだらけ

【めでたい時に唄う】

- めでためめでたの 此のやの館 鶴が御紋に 巢をかける

【その他】

- お前百まで わしゃ九十九まで とともに白髪が生えるまで

飯田町燈籠山祭り保存会

<http://bunanomori.com/toroyama/>

<http://p.booklog.jp/book/74319>

著者：飯田わくわく広場

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/wakuwakuhiroba/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/74319>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/74319>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパバー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ